

GREEN × EXPO 2027 YOKOHAMA JAPAN



2027.3.19[FRI] ▶▶ 9.26[SUN] 横浜（上瀬谷）

地球と生きる準備をしよう

気候変動という地球規模の課題の解決に向けて、横浜から起こすアクション GREEN×EXPO 2027。
「環境と共生する未来のグリーン社会」のあり方を市民の皆様と共に考え、世界に向けて発信します。

いよいよあと2年！

2027年3月、横浜で開幕

【期間】2027年3月19日～9月26日

地球と生きる
未来の姿を
体感する！



公式マスコットキャラクター
トウンクトゥンク



持続可能なグリーン社会を実現する最新のテクノロジー



昼も夜も楽しめる学びと発見のEXPO



生物多様性に支えられる
「農」と「食」の近さを満喫



日本の伝統美の生け花や盆栽を
全身で感じる



グリーン社会を実現する
最新のテクノロジーと出会う場

Urban GX Village



自然と共に育まれた日本の伝統的な
ものづくりが一堂に集まる場

Craft Village



「農」と「食」を通じて
ウェルビーイングを追求できる場

Farm & Food Village



これからの地球を生きる子どもたちが
楽しく自然と世界を学べる場

Kids Village



自然と人の共生する暮らしの
心地よさを再発見できる場

SATOYAMA Village



圧巻の花景色の回廊へ

2015年に米軍から返還された上瀬谷の歴史や想いを未来へつなぐ友好平和の象徴として、会場に新たな花や緑の名所づくりを進めています。例えば、約40種類600本以上の桜。

GREEN×EXPO 2027終了後も市内最大級の桜の饗宴が楽しめる、新たな市民の財産として未来に受け継いでいきます。



© (公財) 日本花の会

1,000万株の花と緑

四季折々の花と緑が集い、豊かな自然や生物多様性を体感できる空間が広がります。花緑によるヒーリング体験の中で、地球環境の明日を考える場となります。

開幕 6か月の会期のなかで移り変わる花 閉幕

春分～立夏 立夏～夏至 夏至～立秋 立秋～秋分



二十四節気七十二候を意識し、繊細に季節変化する四季を活かした人の営みを風景として表現します。

SusHi Tech TOKYO

Sustainable High City Tech Tokyo

Save the Date !!

MAY 8-10 2025

資料 5 - 2

出展スタートアップ **500**社

商談 **5,000**件

参加者 **50,000**人





Sustainable High City Tech Tokyo

5/8 Thu. ▶ 5/10 Sat.

5/8-9 ビジネスデイ **有料**

5/10 パブリックデイ **無料**

東京ビッグサイト 東京都江東区有明3-11-1

**アジア最大級の
スタートアップカンファレンス**

関連イベント 世界五大陸の都市の実務責任者級会議 (5/7~5/9)



東京2025世界陸上・東京2025デフリンピック概要

資料 5 - 3

東京2025世界陸上



開催期間 2025年9月13日～21日 開催場所 国立競技場 ほか

- ワールドアスレティックスが主催。2年に一度開催
- 単一競技の国際大会としては世界最高峰の大会の一つ
- 東京開催は1991年大会以来34年ぶり
- 日本開催は2007年の大阪大会を含めて通算3回目



東京2025世界陸上
公式マスコット「リクワン」

開幕まで
あと**143**日！

東京2025デフリンピック



開催期間 2025年11月15日～26日 開催場所 東京体育館 ほか

- 国際ろう者スポーツ委員会が主催。4年に1度開催
- デフ（きこえない・きこえにくい）アスリートのための
国際総合スポーツ大会
- 100周年の記念すべき大会で、日本での開催は初めて
- スタートランプや旗などを使った視覚による情報保障が特徴



東京2025デフリンピック
公式マスコット「ゆりーと」

開幕まで
あと**206**日！

都の主な取組



世界陸上 1 年前イベント



デフリンピック 1 年前イベント



透明ディスプレイを使ったコミュニケーション



手話をベースに動きを伝える「サインエール」

➤両大会の気運醸成に向けて、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

大宮盆栽村100周年



The Omiya Bonsai Village
100th Anniversary in 2025



大宮盆栽村開村100周年
ホームページ

大宮盆栽村の歴史

東武アーバンパークライン(野田線)とJR宇都宮線に囲まれた大宮公園北側一帯に、大宮盆栽村(さいたま市北区盆栽町)があります。

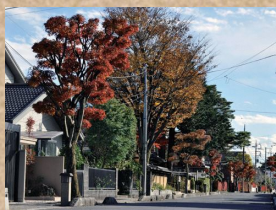
かつて、東京の団子坂(文京区千駄木)周辺には、江戸の大名屋敷などの庭造りをしていた植木職人が多く住んでおり、明治になってから盆栽専門の職人も生まれました。関東大震災(1923年)で大きな被害を受けた盆栽業者が、壊滅した東京から離れ、盆栽育成に適した土壌を求めてこの地へ移り住みました。

1925年には彼らの自治共同体として大宮盆栽村が生まれ、最盛期の1935年頃には約30の盆栽園がありました。

大宮盆栽村は、いまでも名品盆栽の聖地として知られ、日本だけでなく世界から多くの愛好家が訪れています。



さくら通り



もみじ通り



かえで通り



盆栽の見方

盆栽を観賞するには、盆器の中に凝縮された大自然の情景をイメージすることが大切です。盆栽全体の姿を見るだけではなく、根、幹、枝、葉という各部分にも見どころがあります。



根 根張り

歳月を重ねて盛り上がった根が、土をしつかりとつかむ姿には、樹木の強い生命力が表れています。



幹 立ち上がり

根元から最初の枝までの幹は、「立ち上がり」と呼ばれ、ここから上に向かって伸び広がることで、大木のような迫力を生み出します。



枝 枝ぶり

大きな枝がバランスよく配置されており、見苦しい「忌み枝」の無いことが、良い盆栽の条件の一つです。



葉

ごようまつ(五葉松)では、葉が短く光沢のある木が、盆栽に仕立てる「種木」に選ばれます。またモミジなどは、紅葉の季節も見どころとなります。



ジン(神)



シャリ(舍利)

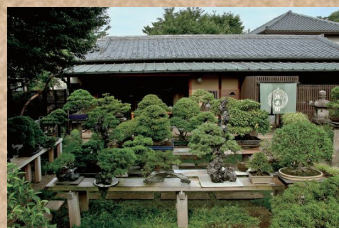
歳月を経た松や真柏では、幹や枝の一部が枯れて、そのままの形を残すことがあります。こうした幹は白い肌を見せることで、緑色の葉と美しいコントラストを生み出します。

枝先のものを「ジン(神)」、幹の一部が枯れたものを「シャリ(舍利)」と呼びます。

大宮盆栽村 盆栽園の紹介

松柏類、雑木類、草物と、盆栽に仕立てられる植物は多種多様です。そして、それを手がける盆栽師の技と美意識によって、一鉢ごとに異なる盆栽が創り上げられます。

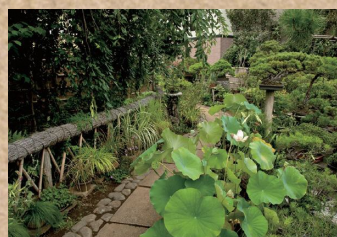
大宮盆栽村には6つの盆栽園があり、各園主こだわりの様々な盆栽がご覧いただけます。



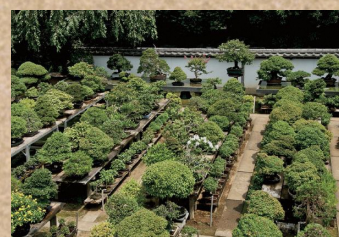
せいこう
清香園



とうじゅ
藤樹園



きゅうか
九霞園



ふよう
芙蓉園



まんせい
蔓青園



しょうせつ
松雪園

お問い合わせ

さいたま市スポーツ文化局文化部文化政策室
TEL:048-829-1225 FAX:048-829-1996
(平日 8:30~17:15)



公式ウェブサイトやSNSで情報発信中!



公式
ウェブサイト

